

令和7年度

公 民 館 要 覧



郡山市立湖南公民館

〒963-1633

郡山市湖南町福良字家老9390-4

電話・FAX 024-983-2543

目 次

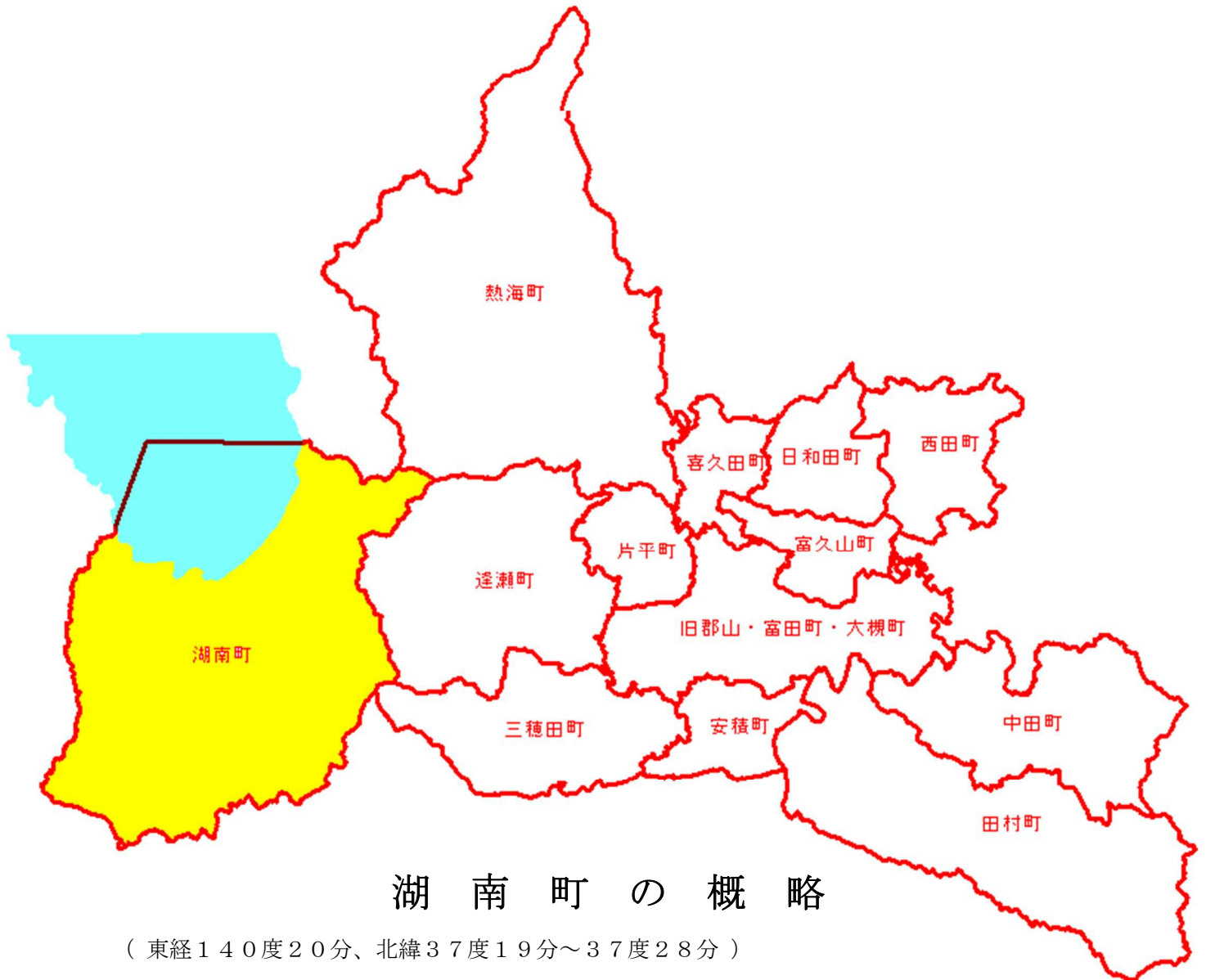
☆ 湖南町の位置・概略	1
☆ 湖南町の沿革	2・3
☆ 湖南町の合併の歴史経過図	4
☆ 湖南町の人口の推移	5
☆ 湖南町指定文化財一覧・所在地	6・7
☆ 湖南出来事年表	8・9
☆ 郡山市の教育理念	10・11
☆ 湖南公民館運営方針・努力目標	12
☆ 公民館関係年表	13・14
☆ 施設の概要	15
☆ 職員名簿・事務分掌	16
☆ 公民館関係職員名簿・分館所在地	17
☆ 歴代職員	18
☆ 令和6年度事務報告	19
☆ 令和7年度事業計画	20
☆ 公民館使用免除団体一覧	21

表紙に寄せて

令和7年3月「白河・会津街道(太閤の道 勢至堂峠)」が郡山市指定史跡に指定されました。表紙の写真は、「是より西北会津領」と刻まれた藩界表石です。

(写真の提供は、三代在住 金田 榮 氏)

郡山市全体から見た湖南町



湖 南 町 の 概 略

(東經140度20分、北緯37度19分～37度28分)

- ・ 郡山市の最西端にあつて海拔 5 1 4 ～ 5 2 0 メートルの山間高冷地である。
- ・ 北は、猪苗代湖に臨んで遥かに磐梯山・東・西・南の三方はいずれも 8 0 0 ～ 1 , 0 0 0 m の高峰山岳に囲まれている。
- ・ 郡山市街へ 3 3 k m、会津若松市街へ 3 2 . 7 k m、国道 2 9 4 号線が通り国道 4 9 号線（猪苗代町 JR 上戸駅） 1 6 k m の位置にある。
- ・ 湖南地区の総面積は 1 6 7 . 7 3 k m²、東西 1 5 k m、南北 1 6 k m あり市面積の 2 0 % を占める。気象条件は、会津山沿いに等しく降雪量は 8 0 c m ～ 1 . 5 m（平均）であり、温度も氷点下 1 7 ℃ ～ 1 8 ℃ 位まで下がることもある。
- ・ 県 3 0 景の一つ、舟津公園をはじめとして多くの景勝地に恵まれ、一方指定文化財等も多く環境に恵まれているところである。

郡山市湖南町の沿革

湖南町は郡山市の20%にも及ぶ面積が猪苗代湖南岸に広がり、肥沃な壤土、自然の恵み、湖南を囲む山々の豊富な資源が縄文時代から5000年以上の歴史を刻んできた。

また、豊かな心情、自然環境などによって特異な文化が生れ保存されてきた一方、会津の入口、通り道として歴史上、何度となく戦乱や政治の犠牲になった。

農耕時代になり西暦135年、阿尺国造が福良の里を開墾、また前後して南方民族の宗像一族が九州より移住し開拓し、その影響を受けてきた。

古代から中世になり武家の政治に変わり源頼朝の臣、伊東が安積を治め健保元年（1213）には湖南に分派、横沢城を築き湖南、湊6200石を支配した。

その後芦名の支配下となり伊達正宗に攻略される天正17年（1589）まで376年間続いた。

豊臣時代になって天正18年（1590）蒲生氏郷、文禄4年（1595）蒲生秀行、慶長3年（1598）上杉景勝。徳川時代になり慶長6年（1601）蒲生秀行、慶長17年（1612）蒲生忠郷、寛永4年（1627）加藤嘉明、寛永8年（1631）加藤明成と替わり、寛永20年（1643）保科正之が会津の領主となったが23万石に減らされたためその影響で湖南は二分され、舟津、館、横沢、浜路、安佐野の山之内五箇郷といわれる五ヶ村が二本松藩に所属替えとなり、以後、190年間続き天保4年（1833）山之内五箇郷は会津藩預かりの天領となり、元治元年（1864）松平容保の京都守護職の役料による加増によって再び会津領となったが4年後、明治維新となる。

湖南は長い政治による分断によって、ことばや生活習慣などに影響を受けた。

明治維新後は、若松民政局の管轄（明治元年10年）となり、明治2年若松県となり、四条某知事藩として旧来の施設を続行しその局に当てられていた。

すなわち、福良組郷頭所を設けて二人の役人を置きこの地域を治めさせた。その範囲は舟津、館、横沢、浜路、安佐野、中野、三代、福良、馬入新田、浜坪、赤津の11ヶ村であったという。明治4年これを廃し区会所政治となり、大区を若松に置き四大区といった。更に、小区を福良村、舟津村の二ヶ所に設けこの地一帯の政治に当たらせ、新政府の方針の徹底を計ったものである。明治9年大区、小区の制度を廃し（若松県）一様に福島県の管轄としたが、同12年3月郡区改正に初めて本部（安積郡）全体をもって行政区割と定められ安積郡役所の所管に変わった。

明治22年4月町村制実施によって福良、赤津二ヶ村は行政組合として役場を福良に置き、更に25年6月三代を併せて三ヶ村行政組合が成立。30年10月それが解除され、各村自治体として出発することになり、独立村として政治がとられるようになった。

22年当時中野、三代が合村して箕輪村と称し、役場は三代にあったが26年6月分離して、三代は福良、赤津と合し、中野は月形と合して二ヶ村行政組合となったが、これも41年4月に解除されて中野、月形各村が誕生した。

昭和28年4月町村合併促進法の施行により、同一環境の赤津、福良、三代、中野、月形の五ヶ村が合併して、昭和30年3月31日に湖南村として発足した。

中野に本庁、福良に支所、三代と舟津それに赤津に出張所をおいた。32年1月1日新庁舎が落成したので、改めて本庁を福良に移し、舟津に舟津支所を新設、三代と赤津の出張所を廃止した。38年7月12日郡山新産業都市の発足に伴い関係者の絶えざる努力と村民の協力により、郡山市、安積郡全町村、田村村（中田、西田両村同年8月編入合併）が大同合併、新郡山市が誕生。40年4月30日限りで湖南村が発展的解消を告げ「郡山市湖南町」となった。

湖南町は郡山市内とは申せ、陸の孤島であった故に地域振興、活性化が叫ばれている中地域住民の長年の願いだった三森峠のトンネルが昭和61年に着工され平成4年に開通、郡山市街地へは約20分の時間が短縮され、なお一層の地域の発展を促すこととなった。

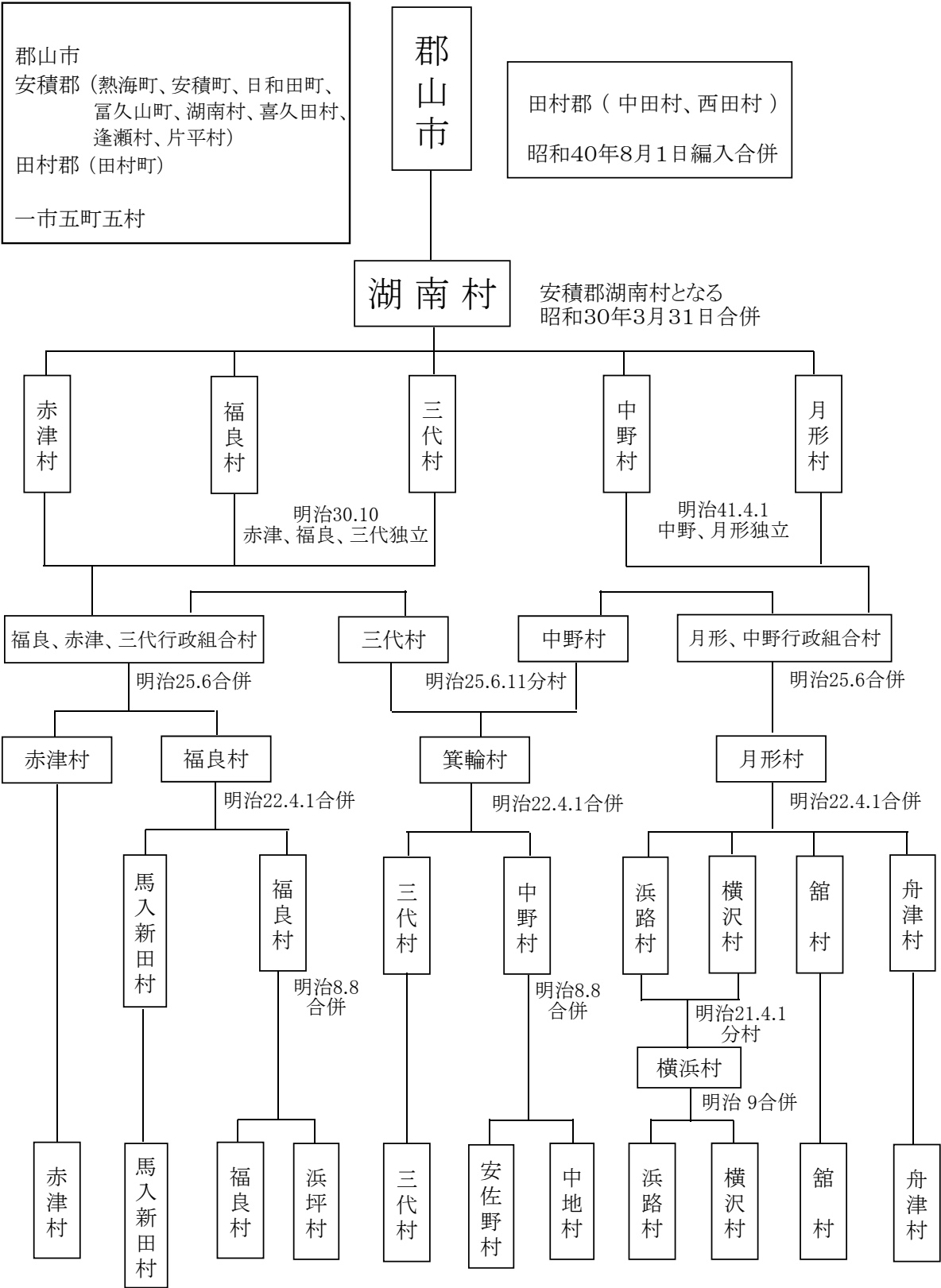
また、国道294号線（長沼町、白河市に通ずる）勢至堂峠のトンネルも昭和63年に着工、平成6年に竣工。国道294号線（会津若松市街地に通ずる）黒森峠のトンネルも平成11年に着工、15年秋に開通した。

これらによって、陸の孤島は一挙に解消され、会津の文化、県南の文化、経済が身近になり更なる地域振興に弾みがつくこととなった。

以降、次のように開発が進められている。平成17年12月、多田野トンネルが開通。平成19年2月、平成17年に着工した国内最大出力の布引高原風力発電所が稼動。平成21年国道294号福良バイパス着工。

令和3年11月、県道6号郡山湖南線の休石1号橋、逢瀬第1トンネル、休石2号橋、逢瀬第2トンネル、休石3号橋が開通。郡山三森峠道路整備完了。令和5年3月国道294号福良バイパス福良工区一部開通、令和7年3月赤津工区一部開通。

郡山市湖南町の合併の歴史経過



湖 南 町 の 人 口 の 推 移

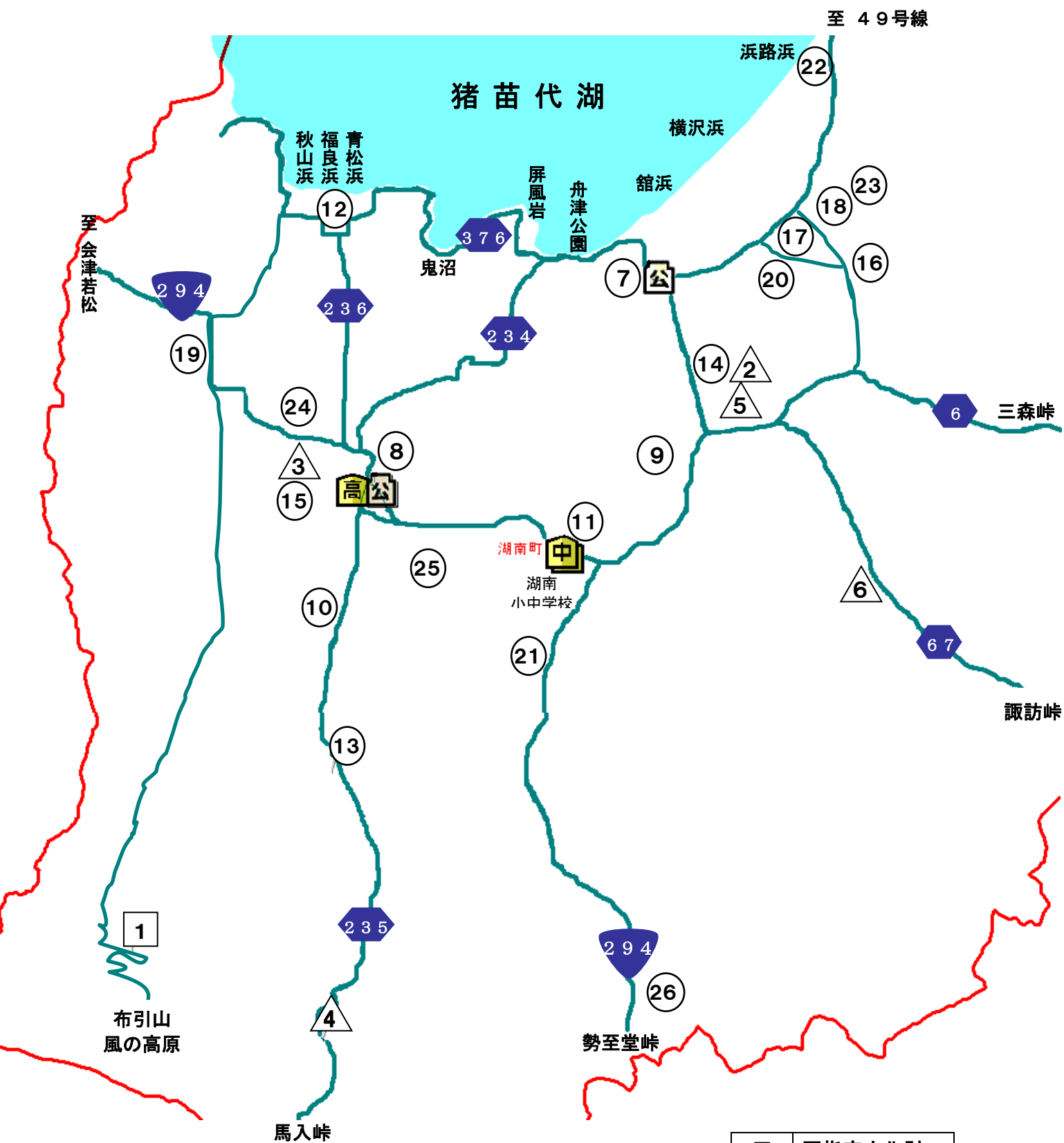
国勢調査結果より(10月1日現在)

	男	女	合 計	世 帯 数
昭和30年	4,987	5,353	10,340	1,712
昭和35年	4,592	4,926	9,518	1,712
※ 昭和35年までは湖南村				
昭和40年	4,077	4,401	8,478	1,663
昭和45年	3,540	3,782	7,322	1,614
昭和50年	3,107	3,371	6,478	1,561
昭和55年	3,032	3,291	6,323	1,533
昭和60年	2,906	3,174	6,080	1,502
平成 2年	2,794	3,039	5,833	1,439
平成 7年	2,630	2,853	5,483	1,427
平成12年	2,333	2,566	4,899	1,427
平成17年	2,068	2,304	4,372	1,296
国勢調査後の現住人口の推移				
	男	女	合 計	世 帯 数
平成18年6月1日	2,032	2,258	4,290	1,288
平成19年6月1日	1,989	2,202	4,191	1,292
平成20年4月1日	1,960	2,172	4,132	1,285
平成21年4月1日	1,883	2,106	3,989	1,288
平成22年4月1日	1,827	2,037	3,864	1,273
平成23年4月1日	—	—	3,859	1,235
平成24年4月1日	—	—	3,771	1,248
平成25年6月1日	—	—	3,647	1,239
平成26年4月1日	1,671	1,879	3,550	1,228
平成27年4月1日	1,623	1,825	3,448	1,228
平成28年4月1日	1,604	1,761	3,365	1,178
平成29年4月1日	1,553	1,697	3,250	1,172
平成30年4月1日	1,522	1,633	3,155	1,162
平成31年4月1日	1,461	1,583	3,044	1,150
令和2年4月1日	1,405	1,534	2,939	1,150
令和3年6月1日	1,344	1,463	2,807	1,130
令和4年4月1日	1,296	1,378	2,674	1,076
令和5年5月1日	1,249	1,314	2,563	1,055
令和6年5月1日	1,218	1,267	2,485	1,048
令和7年5月1日	1,183	1,219	2,402	1,026

郡山市湖南町内指定文化財一覧

NO.	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所 有 者 (管 理 者)
○ 国 指 定 文 化 財						
1	天 然	赤津のカツラ		昭和16. 1.27	赤津字西岐 2801	赤津財産区
○ 県 指 定 文 化 財						
2	重文彫	木造阿弥陀如来坐像	1体	昭和30.12.27	中野字堰内 2488	東 光 寺
3	重文彫	木造千手観音立像	1体	昭和58. 3.25	福良字寺ノ前 6164	千 手 院
4	天 然	隠津島神社社叢		昭和39. 3.24	福良字福良山 7413	隠津島神社
5	天 然	大仏のケヤキ		昭和39. 3. 4	中野字堰内 2488	東 光 寺
6	重無民	湖南の会津万歳		昭和56. 3.31	中野地区	会津万歳 安佐野保存会
○ 市 指 定 文 化 財						
7	重文彫	銅像観音立像	1体	昭和47.10.23	舟津字日本一 4518	洞 泉 寺
8	重文彫	木造阿弥陀如来立像	1体	昭和58. 3.31	福良字荒町 238	感 応 寺
9	重文工	銅鐘	1口	昭和43. 3.13	中野字日ノ岡寺前 1727	満 福 寺
10	重文考	磨崖供養塔	1基	昭和43. 3.13	福良字祢宜内	諏 訪 神 社
11	史 跡	三代の一里塚		昭和50. 8.29	三代地区	三代財産区
12	史 跡	藩領境の大松		平成 2. 4.25	福良字立石 8362-2	福良財産区 (H23.12.19伐採)
13	天 然	馬入の水バショウと湿原林		昭和47.10.23	馬入新田字堤下	郡 山 市 (H2.7.23所有者変更)
14	天 然	中地大仏境内の大ケヤキ と大エノキ		昭和52. 5.11	中野字堰内 2488	東 光 寺
15	天 然	千手観音堂の夫婦モミ		昭和53. 3.11	福良字寺前 6164	千 手 院
16	天 然	飯盛寺のコウヤマキ		昭和53. 3.11	館字前田 353	飯盛寺
17	天 然	館の大マユミ		昭和54.11.20	館字中谷地 1459	館 区
18	天 然	来福寺の大スギ		平成 3. 2.19	横沢字屋敷 2494	来 福 寺
19	天 然	愛宕神社のサワラ		平成 3. 8.20	赤津字愛宕下 4386	愛 宕 神 社
20	重無民	館の早乙女踊り		昭和43. 3.13	館地区	館早乙女踊り 保存会
21	天 然	高井神社のイチイ		平成 8. 9.26	三代字西ノ内 202	高 井 神 社
22	天 然	浜路のエゾエノキ群	10本	平成15. 2.18	浜路字前田地内	浜 路 区
23	重無民	横沢の麓山まつり		平成19.1.18	横沢地区	横沢の 麓山まつり保存会
24	重文彫	地蔵山の来迎二尊石仏		平成24. 12.17	福良地区・地蔵山	地蔵山講中
25	天 然	聖神社(山崎文殊堂)のサ ワラ		平成30. 8.3	福良字四十八滝8853	個 人
26	史 跡	白河・会津街道 (太閤道 勢至堂峠)		令和7.3.21	三代地区	三代財産区

文化財所在地



□	国指定文化財
△	県指定文化財
○	市指定文化財

湖 南 出 来 事 年 表

年	月	項 目
昭和30年	4月	安積郡月形村・中野村・三代村・福良村・赤津村五ヶ村合併、湖南村となる。
	7月	生活改善推進委員会が組織され、当年から旧盆・旧正月廃止。村祭りを9月15日に統一・農休日を毎月1日と決める。
昭和36年	9月	町内各神社参拝青年分団対抗継走。 二瓶和夫氏（三代）郡代表で県大会10km優勝・県代表で全国大会へ・青森～東京駅伝に出場。
	11月	第1回青少年体力テスト実施。
昭和37年	1月	松資源愛護のため正月門松代用の賀標を作成全家庭に配布。
	3月	湖南公会堂（現湖南公民館）にて湖南小唄発表。
昭和40年	1月	成人式1月3日繰上実施。（出稼ぎ者多く15日出席少数の為）
	5月	安積10市町村合併により大郡山市が誕生。
昭和41年	8月	郡山市家庭バレーボール大会にて湖南チーム（中野地区）優勝。
	9月	郡山市市民剣道大会にて湖南チーム優勝。
昭和42年	10月	郡山市内親善駅伝競走にて湖南チーム優勝。その後三連覇優勝。
昭和45年	9月	第3回湖南地区町民運動会福良小学校にて実施。
昭和48年	8月	湖南町野球協会結成。 会長に磯貝万太郎氏。
昭和49年	5月	湖南町史談会結成。 会長に半沢卯右衛門氏。
	7月	湖南樹石愛好会結成。 会長滝田定伊氏。
	7月	三地区（大槻・田村・湖南）青年教室秋山浜にて合同キャンプ。
	8月	市制50周年記念参加行事 湖南地区球技大会実施。 野球は三代クラブ・バレーボールは福良Aチーム優勝。
	10月	地域住民総ぐるみ生活改善実施。
昭和51年	6月	湖南町盆栽愛好会結成。 会長に磯貝安右衛門氏。
昭和53年	6月	湖南町青年会結成。 会長に半沢裕氏・会員105名。
	6月	湖南町文化団体連絡協議会結成。 会長に関口忠太郎氏・13団体加盟。
	11月	郡山市教育関係優良団体として湖南町体育協会表彰。
昭和54年	5月	湖南地区各種団体組織強化。会長に佐藤親次氏・加盟20団体。
昭和55年	12月	三王坂トンネル開通。
昭和56年	1月	冠婚葬祭簡素化運動の一環・慶弔金基準申し合わせ。
昭和58年	3月	「木造千手観音立像」 県重要文化財に指定。
	4月	「木造阿弥陀如来立像」 市重要文化財に指定。

湖 南 出 来 事 年 表

年	月	項 目
昭和 5 9 年	8 月	郡山湖南ライオンズクラブ結成 5 周年。
昭和 6 1 年	1 1 月	三森トンネル工事に着手。
昭和 6 2 年	4 月	彫刻家・三坂耿一郎氏 郡山市名誉市民に推挙される。 民俗史研究家・橋本武氏 県文学正賞（小説部門）受賞。市民文化功労賞受賞。
昭和 6 3 年	6 月	湖南地域総合振興促進協議会 地域まちづくりのため設立。
平成 4 年	1 2 月	新三森トンネル開通。
平成 6 年	1 0 月	農作物戦後第 3 位の豊作。
	1 1 月	国道 2 9 4 号勢至堂トンネル開通。
平成 9 年	7 月	市長杯復活。（ソフトボール）
平成 1 5 年	4 月	（仮称）湖南小学校建設のため敷地造成工事着工。
	1 1 月	国道 2 9 4 号黒森トンネル開通。
平成 1 7 年	4 月	湖南小・中学校開校。
	5 月	布引風力発電の基礎工事起工式。
	1 2 月	県道 6 号郡山湖南線多田野トンネル開通。
平成 1 9 年	1 月	「横沢の麓山祭り」 重要無形文化財に指定。
	2 月	布引風力発電竣工。
	4 月	布引風力発電オープニングセレモニー実施。 湖南地域子ども教室発足
平成 2 1 年	3 月	冊子「ぐるっと湖南 ふるさとの文化遺産」完成 四季の里移転
平成 2 3 年	3 月	東日本大震災（11 日 14 時 46 分発生）
平成 2 3 年	1 2 月	藩領境の大松伐採（樹勢の衰退、枯死状態のため）
平成 2 4 年	1 2 月	「地蔵山の来迎二尊石仏」 郡山市指定重要有形文化財に指定。
平成 2 6 年	4 月	湖南小・中学校開校 1 0 周年。
平成 2 9 年	3 月	「湖南民話ガイドマップ」完成・配布
平成 3 0 年	3 月	冊子「民話でめぐる湖南町」完成・配布
平成 3 1 年	4 月	湖南小・中学校が義務教育学校湖南小中学校に移行
令和 3 年	1 1 月	県道 6 号郡山湖南線休石 1 号橋、逢瀬第 1 トンネル、休石 2 号橋、 逢瀬第 2 トンネル、休石 3 号橋が開通。 郡山・三森峠道路整備完了
令和 5 年	3 月	国道 2 9 4 号福良バイパス福良工区一部開通
令和 7 年	3 月	「白河・会津街道（太閤道 勢至堂峠）」 郡山市指定史跡に指定 国道 2 9 4 号福良バイパス赤津工区一部開通

郡山市の教育理念

【基本理念】

ともに学び、ともに育み、未来を拓く教育の創造

【基本コンセプト】

一人一人のウェルビーイングと「学び」を高める郡山の教育

【基本目標】

1 個性を伸ばし生きる力を育む学校教育の推進

人口減少、少子高齢化、グローバル化が進み社会経済状況が大きく変化する中、自ら課題を見つけ、考え、学び、主体的に判断し、解決しようとする力を身に付けていくことが重要です。また、一人一人の状況に応じて、誰もが学び続けられる環境づくりが不可欠です。

児童生徒それぞれの発達段階や特性等を踏まえつつ、将来にわたって主体的にたくましく生きるために、確かな学力と生涯にわたって学び続ける力、人権尊重と豊かな心、健やかな体の育成や食育の推進等、人生 100 年時代を「生きぬく力」をバランスよく育みます。地域の具体的な課題等、実社会における課題解決学習やキャリア教育、主権者教育等、様々な活動を通じて主体的に社会の形成に参画する態度を育成します。

また、児童生徒一人一人に向き合う時間の確保と教職員の資質向上、ウェルビーイングの向上に向けて、働き方改革の更なる加速化を推進します。

2 家庭や地域と一体となった豊かな学校教育環境の形成

近年、全国的に不登校、発達障がい、外国人児童生徒が増加し、本市においても同様の傾向が見られ、児童生徒と家族を取り巻く課題は複雑化・多様化しています。一人一人の状況に応じた、適切な学びの環境を、ソフト・ハードの両面から家庭・地域と一体となって整備していくことが重要です。

どの子も思う存分学ぶことができるよう、教育環境を充実させるための手厚い人的配置や、様々な課題を抱えている児童生徒への支援、保護者や地域との連携による開かれた特色ある学校づくり、学校施設、設備の整備を進めます。また、児童生徒の安全・安心の確保や教育 DX の推進等により、新たな学びの実現に向けた「学びのセーフティネット」の充実を図る教育環境づくりを推進します。

3 未来へつなぐ教育機関の充実

幼児期の教育・保育ニーズの高まりとともに、質の維持・向上も重要な課題となっています。また、幼児期における教育・保育は、円滑な小学校生活へとつなげる上で重要な役割を果たしており、いわゆる「小1プロブレム」解消に向けて、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校・義務教育学校との間で、密接な情報共有と連携が重要となっています。

誰もが充実した幼児教育と必要な保育を受けることができるよう、保護者負担の軽減を図るとともに、幼児教育・保育施設それぞれの特徴を踏まえつつ、質の高い教育の提供に向けた取り組みを推進します。また、誰もが安心して小学校生活へと移行できるよう、幼保小連携をさらに充実させます。

私立学校の充実についても、多様化する教育ニーズに対応するため、私立学校の経営の健全性を高める適正な支援並びに市立学校と私立学校の教職員同士の交流及び情報共有を図ります。

さらに、高等教育機関の専門人材育成に係る支援を実施するとともに、専門的知識や技能を地域課題解決のために活用できるよう、高等教育機関との連携強化を図ります。

4 社会全体で取り組むこどもの学びや育ちの支援

核家族化の進行、ひとり親世帯の増加、地域とのつながりの希薄化等、地域社会の在り方の変化に伴い、生活上の不安や悩みを抱えながら相談できない家庭の増加や子育ての孤立化が深刻な問題となっています。また、こどもの貧困が顕在化する中、様々な経験格差も生じており、将来的な格差の固定化につながることを懸念されています。

こどもの人格形成に家庭が基本的な役割を果たすことを保護者自らが自覚し、より良い家庭環境づくりができるよう支援するとともに、「家庭・地域の宝」であるこどもの健やかな成長に向け、社会全体で家庭教育を応援し支えていく体制づくりを進めます。

また、次世代を担う青少年の心と体の健全な成長を促し、自主性や協調性、社会性を備えた豊かな人間性を育むため、青少年の社会参画機会や相互交流を促進するとともに、社会全体で青少年を育成する取り組みを行います。また、青少年育成団体を支援することにより、青少年を取り巻く有害環境対策を推進し、非行防止に向けた環境を整え、健全でたくましい心を持った青少年の育成に努めます。

5 生涯学習社会を実現する学びと成長の※エコシステムの構築

人生 100 年時代に向けて、主体的に学び続ける力を付けるための生涯学習の重要性がより一層増しています。今後さらに IoT やビッグデータ、生成 AI 等技術革新が進展し、ライフスタイルが急激に変化する中、誰もが「いつでも」、「どこでも」、自由に機会を選択し学べる生涯学習環境の実現が求められています。

また、ICT の急速な進歩により、世界中の出来事がタイムリーに伝わる時代になっています。そうした中、地球温暖化や紛争、飢餓等、国境を越えた世界規模の諸課題に目を向け、一人一人が正面から取り組んでいくことが求められる時代となっています。

こうした状況を踏まえ、ボランティアをはじめとした地域人材の社会参画、さらに、教育の枠を超えた他分野との連携を図りながら、多面的な視点で事業を実施するとともに、誰も取り残されず生き生きと暮らすための新しい生涯学習の推進に努めます。

また、新たな時代のニーズを見据えつつ、公民館や図書館、美術館等の社会教育施設の活用・更新を進めます。

※エコシステムとは、「生態系」を意味する生物学の専門用語で、地域の団体や人材が密接に連携し、地域の生涯学習環境を形成していることを表しています。

湖南公民館運営方針・努力目標

運 営 方 針

湖南公民館の管理運営は、郡山市の教育理念と郡山市教育振興基本計画を基に、地域における特色ある事業を推進し、市民の教養の向上と健康の増進を図り、社会教育の充実と生涯学習を推進する施設とし、人が集まる公民館活動を推進する。

努 力 目 標

○ 生涯学習の推進

社会情勢の厳しい状況が続く中、少子高齢化の著しい湖南地区において、いかに市民のニーズの多様化に対応するかを検討し、新しい企画と地域の実状に即した生涯学習施設として、人の集まる公民館づくりを推進する。

○ 社会教育団体等の育成

湖南地区内の社会教育団体が、自主的活動を進められるよう育成・指導を行い、情報・施設等の利用を提供する。

○ 芸術文化の推進

湖南地区における芸術・文化等の活動推進を図るため、各文化団体等育成・地域伝統文化伝承・芸術文化自主的活動を推進する。

○ スポーツ、レクリエーション（健康づくり）の推進

球技大会・市民体育祭等のスポーツを通し、心身ともに健全な健康づくりと市民相互の親睦を図り、スポーツ団体の活動を推進する。

○ 青少年健全育成の推進

青少年育成に関係する団体等との連携を図り、青少年の非行防止活動・育成指導員養成と指導活動に努め、青少年育成の基本となる「健全な家庭づくり」の啓発に努める。

○ 明るいまちづくりの推進

生活環境や生活様式の変革により、物の大切さを推進し「花いっぱい運動」等の活動に努める。環境問題には特に関心を持ち、湖南町区長会と連携を図りながら進める。

○ 男女共同参画社会の推進

地域における各種団体等に積極的に参画し、地域活動・社会活動に女性参加の推進を行い、男女が共生できる地域社会づくりに努める。

公 民 館 関 係 年 表

年	月	項 目
昭和30年	4月	安積郡赤津・福良・三代・中野・月形の五ヶ村合併湖南村となる。 福良に村役場。役場内湖南村公民館設置。教育長が館長を兼務。 主事に専任職員1名。館報発行。各旧村単位分館設置。分館長に 小学校・中学校校長。
昭和37年	4月	初公民館結婚式実施。
昭和40年	5月	安積10市町村合併郡山市誕生。郡山市立湖南公民館となる。
昭和45年	3月	新築落成。(事務室・集会室・講義室・図書室・和室・調理室)
	10月	第16回湖南地区総合文化祭開催。
昭和49年	10月	第20回湖南地区総合文化祭参加行事「若人のつどい」開催。
	10月	各団体合同会議にて「生活改善」決定し実行を申し合わせる。
昭和53年	5月	公用車ライトバン設置。(地区公民館初)
	11月	郡山市青少年健全育成湖南地区協議会結成。
昭和54年	6月	湖南スポーツ広場新設・記念行事実施。(ソフトボール大会)
昭和55年	8月	分館長・主事を町内の有識者に委嘱。
昭和59年	3月	湖南地区明るいまちづくり推進委員会第一回推進大会開催。
	8月	ライオンズクラブよりスポーツ広場国旗掲揚塔他贈呈。
	11月	湖南地区明るいまちづくり推進委員会教育関係優良団体受賞。
昭和61年	9月	明るいまちづくり推進委員会主催各団体リーダー研修会実施。
	11月	第一回「少年の主張発表大会」(小学生・中学生・高校生)実施
昭和62年	4月	婦人学級と農村婦人学級を一般婦人学級とする。 郡山市湖南コミュニティーセンター完成。
昭和63年	8月	印刷機(輪転機)配置。
	10月	スポーツ広場夜間照明完成。
平成 元年	8月	コピー機設置。
	10月	サンサングリーン湖南(緑地等管理中央センター)落成。
平成 2年	11月	総合文化祭が農協まつり・商工祭と統合開催。
平成 3年	4月	サニーランド湖南(ディサービスセンター・温泉)落成。
	7月	ファクシミリ設置。
	10月	屋根葺替え工事实施。
平成 4年	10月	少年湖畔の村開設。
	12月	そば道場オープン。
平成 5年	2月	塗装工事实施。
	9月	運営審議会委員 先進地視察研修。 (金沢市城南公民館・七尾市徳田公民館)
平成 6年	4月	パソコン・端末機始動。
	10月	調理室に湯沸し器設置。
平成 7年	12月	大規模改修工事实施。

公 民 館 関 係 年 表

年 月		項 目
平成 8 年	3 月	移動図書施設 9 ケ所（郵便局 3 ケ所・J A 6 ケ所）配置。
	7 月	エアコン設置。（事務室・和室・集会室）
平成 9 年	2 月	管理人室の改築により「和室 2」完成。
	5 月	移動美術館開設。
	8 月	運営審議会委員 先進地視察研修。（秋田市・盛岡市）
	1 0 月	自動ドア・スロープ設置。トイレ改修。
平成 1 0 年	4 月	スポーツ広場駐車場舗装。
平成 1 1 年	8 月	運営審議会委員 先進地視察研修。（長岡市・新潟市・新津市）
	9 月	全館改修工事实施。
平成 1 2 年	5 月	エアコン設置。（会議室・和室 2）
	5 月	運営審議委員会廃止となる。
平成 1 3 年	7 月	I T 講習会開催。パソコン 2 1 台設置。
平成 1 4 年	1 1 月	I T 講習会開催。
	1 2 月	駐車場舗装・フェンス設置工事实施。
平成 1 6 年	4 月	館長の嘱託化・土曜日曜開館。（管理運営体制の変更により）
平成 1 7 年	4 月	主事の嘱託化。（全職員嘱託）
	4 月	湖南小・中学校開校。
平成 1 8 年	8 月	「平成 1 8 年度教育・文化関係表彰」社会教育施設部門受賞。
平成 1 9 年	4 月	機械警備設置。
平成 2 0 年	7 月	湖南公民館を考える会発足
平成 2 2 年	2 月	洋式トイレ改修・ベビーチェア設置
	2 月	ベビーベッド設置
平成 2 3 年	3 月	東日本大震災（11 日 14 時 46 分発生）
	4 月	公民館条例の改正（使用時間・料金等の変更）
平成 2 3 年	8・9 月	地震被害箇所修繕
平成 2 3 年	9 月	下水道工事
平成 2 4 年	1 1 月	平成 2 4 年度第 6 5 回優良公民館「文部科学大臣」表彰を受賞
平成 2 6 年	1 0 月	AED 設置
平成 2 7 年	4 月	W i - F i 設置
平成 2 8 年	9 月	和室の畳表替え
平成 2 9 年	1 2 月	女子トイレ洋式化
令和 元年	7 月	耐震補強工事のため湖南コミュニティーセンターへ事務所移転
令和 2 年	4 月	新型コロナウイルス感染症に係る主・共催事業や貸館等制限
令和 2 年	7 月	耐震補強工事完工 8 月 7 日公民館再オープン
令和 5 年	5 月	新型コロナウイルス感染症「5 類感染症」移行に伴う運営通常化

公民館施設の概要

位 置 電話／FAX メールアドレス 建築年月日 構 造 床 面 積 敷 地 面 積 職 員 数 分 館	郡山市湖南町福良字家老 9390－4 0 2 4 (9 8 3) 2 5 4 3 konan-pub@city.koriyama.lg.jp 昭和45年3月27日 鉄骨モルタル造2階建 525.61 m ² 984.30 m ² 職員4名 併任2名 分館5館	公 民 館 使 用 料				
		区 分	9:00 ～ 13:00	13:00 ～ 17:00	17:00 ～ 21:00	9:00 ～ 21:00
		会議室	300	500	600	1,200
		集会室	700	900	1,000	2,300
		和 室	300	500	600	1,200
		実習室	300	500	600	1,200
		※ 冷・暖房使用料は、使用料の20%加算。 ※ 使用時間には、準備や後片付けの時間を含めます。				
沿 革	昭和40年 5月 1日 郡山市と合併、郡山市立湖南公民館となる。 事務所を郡山市湖南支所内に置く。					
	昭和45年 3月27日 郡山市立湖南公民館新築落成					
	平成12年 2月 湖南公民館改築					
	令和2年7月 耐震補強工事完工					
配 置 図	1 階 図 書 室 39m² 倉 庫 和 室 1 25m² 10人 和 室 2 32m² 20人 多目的 WC 男子 WC ↑ 2 階 へ 玄 関 事 務 室 39m² 会 議 室 39m² 15人 女子 WC 調理実習室 37m² 15人					
	2 階 物 置 ←1階へ 物 置 集 会 室 151m² 80人					

※各部屋の数字(人)は定員数。

公 民 館 職 員 名 簿 <事務分掌>

【 湖南公民館 】

職 名	氏 名	事 務 分 掌
館 長 (中央図書館湖南分館長併任)	堀田 操	・ 公民館業務の事務決裁に関する事 ・ 公民館事務の連絡調整に関する事 ・ 分館事業に関する事 ・ 図書館湖南分館に関する事
主 任 (湖南コミュニティセンター・湖南行政センター月形連絡所長併任)	二瓶 正仁	・ 湖南コミュニティセンターの管理運営に関する事 ・ 湖南公民館との連絡調整に関する事 ・ 湖南コミュニティセンターの予算に関する事
主 事 (中央図書館湖南分館併任)	木村 和枝 武藤 智子 二瓶 慶樹	・ 公民館事務、事業実施事務に関する事 ・ 公民館庶務に関する事 ・ 出納事務に関する事 ・ 図書館湖南分館に関する事 ・ 各種団体等の事務に関する事 ・ 施設の清掃及び公民館用務等に関する事
用 務 員 (湖南行政センター併任)	齋藤 学	・ 公民館用務及び文書配布等に関する事 ・ 施設の内外環境整備に関する事

【 分 館 】

分 館 名	運 営 長	運 営 員	事 務 分 掌
赤 津	渡部 一政	増子 健一	・ 分館の貸館業務に関する事 ・ 分館の維持管理に関する事 ・ 社会教育団体との連絡に関する事 ・ 各地区体育事業に関する事 ・ その他分館事業に関する事
福 良	長島 三良	本田 康浩	
三 代	齊藤 司	北島 俊也	
中 野	田中 眞一	飯村 守永	
月 形	佐藤 孝洋	安部 直人	

【 社会教育補助員 】

氏 名	事 務 分 掌
柏木 幸一	・ 主催、共催各種事業の補助的な役割に関する事
小椋 眞理子	

公民館関係者名簿・分館所在地

郡山市公民館運営審議委員名簿

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
古川 敬	平成 12.6.1	平成 14.5.31	
渡部キミ子	平成 14.6.1	平成 18.5.31	
斎藤 玲子	平成 18.6.1	平成 22.5.31	
二瓶 祐一	平成 22.6.1	平成 26.5.31	
桑名佐奈恵	平成 26.6.1	令和 2.5.31	

※「郡山市立公民館運営審議会委員の選考基準」の改正（H30.3.1）により、「地区公民館区の住民を代表する者」という基準は削除された。

各種団体長 名簿

団 体 名	氏 名
青少年健全育成湖南地区協議会会長	荒川 幸雄
湖南地区明るいまちづくり推進委員会委員長	高橋 忠俊
湖南町体育協会会長	仲田 友裕

湖南公民館分館 所在地

分 館 名	所 在 地	電話番号	施 設 名
赤津分館	郡山市湖南町赤津字北町 4626-3	983 - 2010	赤津集会所
福良分館	郡山市湖南町福良字台畠 8584	982 - 2811	サンサングリーン湖南
三代分館	郡山市湖南町三代字寺ノ前 328-3	982 - 2962	三代集会所
中野分館	郡山市湖南町中野字堰内 2530	982 - 2946	中野集会所
月形分館	郡山市湖南町舟津字舟津 852	982 - 2112	湖南コミュニティセンター

公 民 館 歴 代 館 長 ・ 職 員

No	勤 務 年 数	館 長 名	事 務 職 員	
1	S30. 4. 1 ~ 30. 9.30	緑 川 弘 導	小 中 校 長 兼	
2	S30.10. 1 ~ 35. 9.30	斎 藤 覚		
3	S35.10. 1 ~ 37. 9.30	西 田 祐 馬	大 和 田 光 雄	
4	S37.10. 1 ~ 38. 3.31	勝 又 克 伊		
5	S38. 4. 1 ~ 38. 7.31	西 田 祐 馬		
6	S38. 8. 1 ~ 40. 3.31	勝 又 克 伊		
7	S40. 4. 1 ~ 44. 7.31	西 田 祐 馬	三 浦 圓 海	
8	S44. 8. 1 ~ 44. 8.31	上 野 喜 代 志		
9	S44. 9. 1 ~ 46.12.31	渡 部 利 弘		
10	S47. 1. 1 ~ 47. 3.31	上 野 喜 代 志		
11	S47. 4. 1 ~ 47. 5.14	石 田 豊 記		
12	S47. 5.15 ~ 48. 3.31	上 野 喜 代 志		
13	S48. 4. 1 ~ 48. 6.30	石 田 豊 記		
14	S48. 7. 1 ~ 52. 6.30	武 藤 宏	二 瓶 幸 雄	
15	S52. 7. 1 ~ 60. 8. 6	木 伏 高 徳		
16	S60. 8. 7 ~H 3. 3.31	大 越 晃	高 松 守	
17	H 3. 4. 1 ~ 5. 3.31	古 川 正 庫 雄		
18	H 5. 4. 1 ~ 7. 3.31	二 瓶 幸 雄	二 瓶 幸 雄	
19	H 7. 4. 1 ~ 13. 3.31	斉 藤 正 紀	宗 形 真 希 柳 沼 裕	武 藤 智 子 半 沢 加 代 子
20	H13. 4. 1 ~ 16. 9.30	石 田 嘉 夫	小 林 功 平 田 清 隆 渡 邊 朱 美	横 山 千 賀 子 小 山 由 利 伊 藤 祐 子
21	H16.10. 1 ~ 20. 3.31	菅 野 洋 子	小 山 由 利 子 橋 本 須 賀 子	渡 邊 朱 美 國 分 綾 子
22	H20. 4. 1 ~ 22. 3.31	菅 野 洋 子	小 山 由 利 子 郡 司 由 紀 恵	渡 邊 朱 美 橋 本 美 保
23	H22. 4. 1 ~ 23. 3.31	成 山 恵 美 子	小 山 由 利 子 石 田 奈 津 子	渡 邊 朱 美 郡 司 由 紀 恵
24	H23. 4. 1 ~ 24. 3.31	成 山 恵 美 子	渡 部 喜 久 江 石 田 奈 津 子	渡 邊 朱 美 郡 司 由 紀 恵
25	H24. 4. 1 ~ 25. 3.31	成 山 恵 美 子	渡 部 喜 久 江 石 田 奈 津 子	渡 邊 朱 美 宮 城 愛 美
26	H25. 4. 1 ~ 26. 3.31	成 山 恵 美 子	渡 部 喜 久 江 石 田 奈 津 子	竹 石 民 宮 城 愛 美
27	H26. 4. 1 ~ 29. 3.31	成 山 恵 美 子	三 瓶 里 美 石 田 奈 津 子	竹 石 民 宮 城 愛 美
28	H29. 4. 1 ~ 31. 3.31	成 山 恵 美 子	三 瓶 里 美 渡 邊 朱 美	竹 石 民 細 山 須 美 江
29	H31. 4. 1 ~R 2. 3.31	佐 藤 忠 男	渡 邊 朱 美 細 山 須 美 江	竹 石 民 武 藤 智 子
30	R 2. 4. 1 ~ 3. 3.31	佐 藤 忠 男	渡 邊 朱 美 武 藤 智 子	竹 石 民 樋 口 広 幸
31	R 3. 4. 1 ~ 4. 3.31	佐 藤 忠 男	竹 石 民 樋 口 広 幸	武 藤 智 子
32	R 4. 4. 1 ~ 5. 3.31	佐 藤 忠 男	竹 石 民 二 瓶 慶 樹	武 藤 智 子
33	R 5. 4. 1 ~ 7. 3.31	佐 藤 忠 男	木 村 和 枝 二 瓶 慶 樹	武 藤 智 子
33	R 7. 4. 1 ~ 8. 3.31	堀 田 操	木 村 和 枝 二 瓶 慶 樹	武 藤 智 子

令和6年度事務報告

湖南 公民館

1. 情報提供(公民館だより・要覧等)

No.	事業名	号数	事業主体	発行日	部数	配布方法
1	公民館要覧	令和6年度	湖南公民館	5月	60部	各公民館・各団体長
2	湖南公民館だより「みてみて」	No.72～No.75	湖南公民館	5・12・1・3月	各200部	回覧
合計(のべ公民館だより等発行部数)					860部	

2. 会議等

No.	事業名	実施日(期間)	日数(回数)	受講者数	延べ参加者数	内容
1	湖南地区明るいまちづくり推進委員会	4月～3月	5	計 男 女	計 67 男 女	総会・役員会・監査会・事業内容の打ち合わせ
2	青少年健全育成湖南地区協議会	4月～3月	4	計 男 女	計 48 男 女	総会・役員会・監査会・事業内容の打ち合わせ
3	湖南町体育協会	4月～3月	12	計 男 女	計 300 男 女	総会・役員会・監査会・事業内容の打ち合わせ
計(3事業)			21	計 0 男 0 女 0	計 415 男 0 女 0	

3. 貸館・図書利用者

項 目 月	主 催		共 催		貸 館		計		図 書	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	冊 数	利用者
4月	1	12	0	0	22	221	23	233	35	18
5月	0	0	2	21	17	188	19	209	34	21
6月	1	7	0	0	19	205	20	212	23	12
7月	5	11	16	92	19	274	40	377	45	36
8月	5	9	2	25	18	180	25	214	18	11
9月	2	16	1	35	20	222	23	273	53	35
10月	2	13	1	12	30	176	33	201	35	18
11月	8	23	12	610	24	163	44	796	23	18
12月	8	23	4	29	24	68	36	120	29	20
1月	0	0	0	0	5	57	5	57	26	16
2月	0	0	0	0	15	150	15	150	44	22
3月	8	44	2	26	26	270	36	340	40	20
合計	40	158	40	850	239	2,174	319	3,182	405	247

令和 7 年度公民館事業計画表

1 公民館主催事業

1 公民館主催事業					公民館名	湖南公民館
No.	事業名	開催期間	対象別※	予算額	事業分類 1	
				実施回数	事業分野 1	
1	ふるさと・良いとこ学級	8 月 ～ 12 月	成人	89,445	定期講座	
				6	市民意識社会連帯意識	
2	分館事業	7 月 ～ 2 月	一般	53,687	定期講座	
				5	市民意識社会連帯意識	
3	スマートフォン体験講座	4 月 ～ 4 月	一般	22,500	定期講座	
				2	その他	
4	女性対象学級 「きらり☆ウーマン」	7 月 ～ 12 月	女性	81,775	定期講座	
				6	市民意識社会連帯意識	
5	青少年対象事業「地域未来塾 いっしょに遊ぶ 子この指とまれ」	7 月 ～ 12 月	青少年	21,499	定期講座	
				3	その他	
6	健康教室	12 月 ～ 1 月	成人	45,138	定期講座	
				4	体育・レクリエーション	
7	青少年対象事業 「地域未来塾 青少年教室」	12 月 ～ 2 月	青少年	24,750	定期講座	
				2	その他	
8	のびのび公民館サマースクール	7 月 ～ 8 月	青少年	11,619	定期講座	
				2	その他	
9						
計				350,413		
				30		

2 公民館だより

ア.館区内町内会加入世帯数	1,035 世帯			イ.発行部数			187 部			配布方法		全戸配布・回覧	
ウ.公民館だより発行時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	○				○				○			○	

3 共催事業

(1) 文化祭

No.	事業名	実施日	総事業費	市負担金	備考
1	湖南文化祭	11月	245,000	55,250	
計			245,000	55,250	

(2) 総合スポーツ振興

No.	事業名	実施日	総事業費	市負担金	備考
1	湖南地区球技大会	7 月	50,000	17,000	
2	湖南地区市民体育祭	9 月	480,000	93,500	
3	湖南地区新春バレーボール大会	2 月	35,000	0	
計			565,000	110,500	

(3) 公民館分館事業

No.	事業名	実施日	総事業費	市負担金	実施分館名
1	湖南地区分館事業球技大会	6 月	452,000	76,500	湖南地区分館
計			452,000	76,500	

(4) その他 各種団体との連携事業

No.	事業名	実施日	対象者	総事業費	実施主体
1	湖南地区花いっぱいコンクール	6月～11月	一般	45,000	明るいまちづくり推進委員会
2	ぐるっと湖南めぐり（後期課程8年生対象）	7 月	青少年	95,000	明るいまちづくり推進委員会
3	標語・川柳コンクール	11 月	青少年・一般	15,000	明るいまちづくり推進委員会
4	育成事業（食育・ロコモ対策）	5月～1月	青少年	60,000	青少年健全育成協議会
5	まちたんけん	6 月	青少年	20,000	青少年健全育成協議会
6	ぐるっと湖南めぐり（前期課程5年生対象）	7 月	青少年	80,000	青少年健全育成協議会
7	少年の主張発表会	11 月	青少年	90,000	青少年健全育成協議会
計				405,000	

公民館使用料免除団体一覧表

No.	団体名	代表者氏名
1	郡山市青少年健全育成湖南地区協議会	荒 川 幸 雄
2	郡山市湖南地区明るいまちづくり推進委員会	高 橋 忠 俊
3	福良北区	二 瓶 義 和
4	福良盆踊り保存会	結 城 七 郎
5	藤蔭流玉枝会湖南支部湖藤会	丸 山 清 子
6	湖南町史談会	良 田 金 次 郎
7	社会福祉法人郡山市社会福祉協議会湖南地区社会福祉協議会	高 木 三 男
8	湖南地区ボランティア連絡会	渡 部 幸 子
9	湖南町老人クラブ連絡協議会	満 田 仁 一
10	福良南区	二 瓶 祐 一
11	誠祥会湖南支部	古 川 久 美 子
12	湖南町文化団体連絡協議会	鈴 木 和 夫
13	湖南町舟津区	大 越 薫
14	A L O H A ・ H U L A	大 越 純 子
15	湖南民話の会	佐 藤 加 津 子
16	湖南ダンス愛好会	渡 辺 岩 雄
17	絵手紙クラブ・ほっこり湖南	桑 名 真 弓
18	湖南行政センター	矢 島 敦
19	湖南町体育協会	仲 田 友 裕
20	ぐるっと湖南・伝承会	大 内 紀 男
21	余郷テレビ共同受信施設組合	西 田 隆
22	福良中区	高 橋 忠 俊
23	郡山市中野保育所	佐 藤 美 貴 子
24	湖南町商工会	小 原 博
25	郡山北地区交通安全協会湖南支部	勝 又 勇 雄
26	郡山市遺族会湖南方部会	渡 邊 守 久
27	J A福島さくら郡山地区女性部湖南西支部	半 沢 登 喜 子
28	郡山ふるさと田舎体験協議会	勝 又 俊 博
29	弥陀内テレビ共同受信施設組合	結 城 典 直

郡山市立湖南公民館

